TNK Communication

2025年
(令和7年12月)
第235号

新卒内定式　開催しました

来年、2026年4月入社予定の皆さんの内定式が12月2日（火）に行われました。

会場は、例年と同じく幕張の「ホテル・ザ・マンハッタン」です。当日は、天候にも恵まれた、内定式日和でした。

そもそも内定式は、内定者に正式な内定を伝え、入社に向けた準備を進めてもらうために行われます。実施の最大の目的ともいえるのが、内定証書の授与。これにより、内定者は企業からの正式な承諾を受けたことを確認し、入社に向けた準備を安心して進めることができます

今回の内定者、つまり来年の新入社員は、6名でした。

・神谷　颯大さん
・吉川　哲平さん
・石川　琉碧さん
・矢野　宗志さん
・鈴木　一輝さん

残念ながら体調悪く1名が出席できませんでしたが、5名の方に内定証書が授与されました。

内定証書の授与の後の記念撮影です。人数も5名でしたのでこのような構図で撮影しました。厳粛な雰囲気がでていますね。

ズキューン！、皆さん、馴染んでいますね、これが田中電子です！

マナブラ研修、絶賛開催中！

先月、マナーブラッシュアップ研修が茨城と千葉で行われました。

茨城地区は13日に石岡商工会議所に集まり行いました。

27日に千葉、埼玉地区の皆さんが船橋のプロム船橋に集まりました。

今回は、千葉で行われた研修を取材しましたのでその様子を紹介します。

「トップセールスマンになるための接客マナー」と題された今回の研修ですが、

講師は皆藤部長、中尾MGのお二人です。参加者は、14名です。

まずは皆藤部長より営業のプロフェッショナルとなるための基本的知識のレクチャーとなります。

身嗜みの重要性として「営業のプロとして遜色のない、清潔感のある身嗜みを維持します」これは、お客様の大切な情報をお預かりする仕事なので印象の悪い人に大切な情報をお客様が預けられるかと常にお客様からの立場から見た時の印象を考えなくてはいけません。

「営業のプロとして基本的な言葉遣いを身に付けます」ということで中尾MGよりレクチャーがありました。

接客において基本的に使用するのは敬語です。

来店するお客様は、自分たちと同世代の方たちばかりでなく、年齢や立場のちがいなど様々です。その時の状況に応じて臨機応変に言葉を使い分けることがポイントになります。つまり「敬語の活用」でスムーズなコミュニケーションができるということですね。

そもそも敬語に関しての知識を持ち合わせていない方用に敬語の基本が始まりまし↑。尊敬語、謙譲語、丁寧語など難しいですよね。

普段、使っている敬語のなかで間違って使っている場合がありその勉強もしました。これは、勉強になりました。

例えば、

「こちらが受付になります」という会話をした場合、なんか丁寧に言ってるような気になります。

しかし、「～になります」のなりますは、物事が変化する時（例：「夏になります」）や、ある事柄が結果として役立つ時（例：「参考になります」）に使うのが正しい敬語表現です。

ですから「こちらが受付でございます」が正しいですね。受付の前はなんだったのという突っ込みはなくなります。

また、売り場でよく使われていると思いますが、

「在庫の方を確認してまいります」という会話、いかがですか、使っているという方も少なくはないと思います。

この「～の方」ですがこれは、色々な意味があって

・方向、方角、方位
・部門や分野を漠然と指す
・ふたつ以上あるもののうちのひとつを取り上げてさす語

というのが一般的ですね。

次の会話はどうでしょう

●お荷物の方、お預かりいたします
●お会計の方をお願いしま
●メニューの方をお持ちいたしました

これらは全て間違いですね

正しい言い方は、

○お荷物をお預かりいたします
○お会計をお願いします
○メニューをお持ちいたしました

となります。

このような「～の方」は、いわゆるバイト敬語と言われていて、接客業のアルバイト店員が使いがちとされる間違った言い回しですね

大変、参考になりますね。

中尾MGありがとうございました。（拍手）

後半は、お辞儀、挨拶、からの着席誘導の練習やお客様を思いやる態度として礼儀正しさ、積極的な姿勢、誠実な態度を勉強して、グループごとでロープレを行いました。

本日、習得したことを是非、店舗で実践してください。